

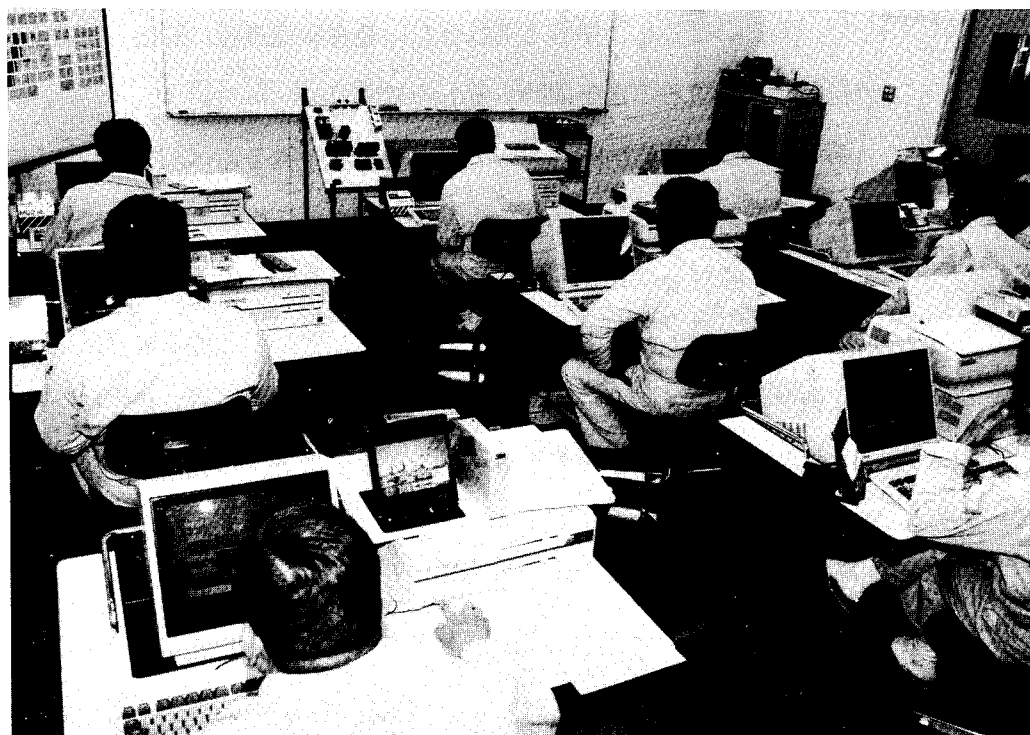
# 第1章 マニュアルの制作にあたって

---

職業能力開発のためのC A Iに関する研究開発を目的として設置された職業能力開発C A I研究会におけるこれまでの研究開発の成果として、共通的なノウハウを紹介します。これからC A I教材の開発に取り組むための資料としてください。

この章では、C A Iの概要について簡単に触れるとともに、本マニュアルの目的と使い方について述べています。

---



## 〈C A I とマニュアルの概要〉

C A I とは、学習者がコンピュータと対峙しながら学習を進める一つの教育方式です。基本的には、一人の学習者が1台のコンピュータを占有する形態をとり、いわゆる個別学習が可能になります。

しかし、どのような形態をとっても、実際に満足のいく学習がなされたかどうかは、コンピュータ画面に表示される学習情報の教材としての良質性に大きく影響されます。画面上に次々と提示されていく一連の学習情報、つまり、コースウェアが、内容としてまた提示の方法としてその学習者にいかに適切なものであるかが、大きな“鍵”となります。そこでは、採り上げる教材がその性質上コンピュータで提示するのに適したものであるか、学習情報の提示順序に一貫性があるか、またその情報が画面上に見やすく表示されているかといった提示内容方法の問題から、そのC A I を当該教科の中にどう位置づけるのか、実施にあたってどのように学習環境の整備を図るのか、といったカリキュラムの整合性や具体的な実施計画にいたるまで、多面的に、また、実際に即して検討しなければなりません。

そこで、このマニュアルでは、職業訓練分野でC A I を適正に活用・運用していくのに必要と思われる“鍵”をまとめることにしました。これを一つの手がかりとして、あるいはこれに準じてそれぞれの教育訓練施設に即応したC A I を開発し、持続的に実践することを期待するものです。

第2章では、職業訓練とC A I の全般的な特徴を述べ、第3章では教育訓練現場でC A I を実践するにあたって検討すべき事柄を概略的に述べています。また、第4章では、教材をコンピュータに移植するにあたり、学習情報を画面上にどのように表示するかの工夫を中心に述べています。そして、第5章では、C A I の実施中や実施後の適切な措置についてまとめてあります。なお、必要と思われる部分だけ抜きだして読むことができるよう、各タイトルではできるだけ独立性を保つように構成してあります。

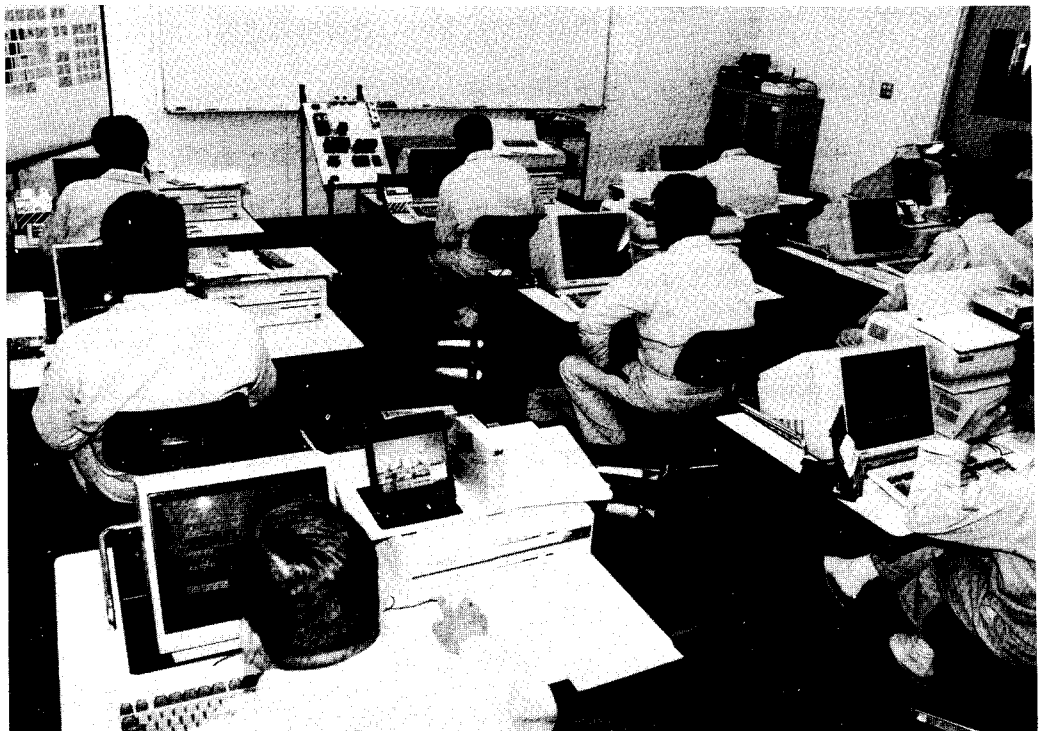
# 第1章 マニュアルの制作にあたって

---

職業能力開発のためのC A Iに関する研究開発を目的として設置された職業能力開発C A I研究会におけるこれまでの研究開発の成果として、共通的なノウハウを紹介します。これからC A I教材の開発に取り組むための資料としてください。

この章では、C A Iの概要について簡単に触れるとともに、本マニュアルの目的と使い方について述べています。

---



## 〈C A I とマニュアルの概要〉

C A I とは、学習者がコンピュータと対峙しながら学習を進める一つの教育方式です。基本的には、一人の学習者が1台のコンピュータを占有する形態をとり、いわゆる個別学習が可能になります。

しかし、どのような形態をとっても、実際に満足のいく学習がなされたかどうかは、コンピュータ画面に表示される学習情報の教材としての良質性に大きく影響されます。画面上に次々と提示されていく一連の学習情報、つまり、コースウェアが、内容としてまた提示の方法としてその学習者にいかに適切なものであるかが、大きな“鍵”となります。そこでは、採り上げる教材がその性質上コンピュータで提示するのに適したものであるか、学習情報の提示順序に一貫性があるか、またその情報が画面上に見やすく表示されているかといった提示内容方法の問題から、そのC A I を当該教科の中にどう位置づけるのか、実施にあたってどのように学習環境の整備を図るのか、といったカリキュラムの整合性や具体的な実施計画にいたるまで、多面的に、また、実際に即して検討しなければなりません。

そこで、このマニュアルでは、職業訓練分野でC A I を適正に活用・運用していくのに必要と思われる“鍵”をまとめることにしました。これを一つの手がかりとして、あるいはこれに準じてそれぞれの教育訓練施設に即応したC A I を開発し、持続的に実践することを期待するものです。

第2章では、職業訓練とC A I の全般的な特徴を述べ、第3章では教育訓練現場でC A I を実践するにあたって検討すべき事柄を概略的に述べています。また、第4章では、教材をコンピュータに移植するにあたり、学習情報を画面上にどのように表示するかの工夫を中心に述べています。そして、第5章では、C A I の実施中や実施後の適切な措置についてまとめてあります。なお、必要と思われる部分だけ抜きだして読むことができるよう、各タイトルではできるだけ独立性を保つように構成してあります。